

ひび割れ補修方法一覧 【対象製品:アルファテック380・アルファテック388・アルファテック348】

使用製品		アルファテック380	アルファテック388	アルファテック348		
ひび割れ幅	上向き(天井面) 横向き(壁面)	マイクロクラック～0.5mm程度	0.05～0.8mm程度	0.2～5mm程度		
	下向き(床面)	マイクロクラック～5mm程度まで				
施工方法		塗布・注入		注入		
概要		ひびわれ内部に高浸透性エポキシ樹脂をコンクリート表面から塗布して毛細管現象にて浸透させひびわれを一体化します。		ひびわれ内部にエポキシ樹脂注入材をゴム圧力による低圧注入で、ひび割れを一体化します。圧力で注入することからひび割れの深部にまで注入材が注入されます。		
使用工具・材料		【塗布: 刷毛又はローラー】 【注入: アルファシリンダー(低圧注入器)、カートリッジ、又は油さし】 ヘラ等(液寄せ用)、はくりシラー又はパテ(シール用)				
						
		ローラー	刷毛	アルファシリンダー	カートリッジ	油さし
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>床面へ塗布の場合、大きなひび割れの開口部から樹脂が流れ出てしまう場合は、アルファテック348を混合して流動調整し流失を防止してください。</li> <li>低粘度の製品で流れやすい為、壁面・天井面への塗布時は、テープ等での養生およびヘラ等での液寄せを推奨します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>液ダレしにくい高粘度の製品となり毛細管現象では浸透しないため、注入器具が必要となります。</li> <li>壁面・天井面への施工時は、テープ等で養生し、ヘラ等で液寄せを行ってください。</li> </ul>		